

# 2012 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会



## もうすぐ開幕



ぎふ清流国体・ぎふ清流大会が9月29日に開幕されます。  
この大会を盛り上げようと村内でも様々な取り組みが行われています。

### 大会カウントダウンボード設置

5月8日(火)ぎふ清流国体マスコットキャラクター「ミナモ」のカウントダウンボードが、役場入口と小中学校の渡り廊下に設置されました。開催日が分かるように、村教育委員会と大工さんでミナモと台を手作りし、日数のボードは白小5年生が図工の時間に、心を込めて作りしました。



### ギフとフラッグワークショップ開催

5月22日(火)～24日(木)白川小学校絆ホールで清流国体・清流大会に使う縦2m横3mの「ギフとフラッグ」を作成しました。この大会の総合プロデューサーで東京芸術大学教授の日比野克彦さんが、白川の子供たちに描いてもらった宝物の絵の中から6つの作品を選び、フラッグのデザインが出来上がりました。このデザインを忠実に、細かく切った布をちぎり絵のように張り付け、立派なフラッグを完成させました。また、学校給食の時間を利用して、フラッグのデザインに選ばれた6名を発表すると、大きな歓声があふれ、選ばれた子供たちから笑顔があふれました。7月20日(金)には、炬火リレーが実施され、このフラッグを持って、荻町集落内と平瀬温泉街を走る予定です。



デザインに選ばれた6名

坂次健太さん(平瀬)・横井美穂さん(荻町)・小洞拓摩さん(荻町)  
下方祐哉さん(鳩谷)・古田 駿さん(荻町)・松下瑠月さん(飯島)

## 診療所 だより

伊左次 悟 先生



### 高齢化社会

僕が赴任したところの白川村の高齢化率は25%で、それは岐阜県の高齢化率とほぼ同等でした。それがこの4月では高齢化率が29.2%と上昇し、65歳以上の方は500人ほどいらっしゃるそうです。

高齢者を支えるための介護保険の認定を受けている方はおよそ90人いらっしゃいます。その中ですでにさくら山荘を含む施設で療養されている方が30人ほどになり、さらに増えつつあります。そして、それ以外の60人ほどの高齢者は自宅で療養をされていることとなります。なお自宅で療養中の高齢者の平均年齢は84.5歳でした。こうした方々のほとんどは診療所も関わって支えています。

次に、そうしたお年寄りを支える家族で、主として介護にあたっている方々の平均年齢を概算したところ65.9歳(80歳台も数名いる)でした。また、そうした主たる介護者の中の6割の方が、自身も慢性疾患等で診療所に定期通院されていることも分かりました。なお要介護高齢者の独居世帯もわずかですがあります。

すなわち白川村では、85歳くらいの何らかの介護が必要なお年寄りを、慢性疾患等を抱えた65歳くらいの家族が中心となって支えているのが平均的な高齢者を抱える世帯像ということが言えます。村と同じような規模の他の地域では高齢化率40%以上で、独居や高齢者夫婦のみの世帯が普通であることが多く、それに比べるとまだいいのかもしれませんが、これから時間の経過とともに、この現状は益々厳しくなっていくものと思われます。

日本は、社会の高齢化では世界の最先端にあるようです。韓国や台湾では日本の介護保険制度などを参考にしながら高齢化社会に備えているそうです。高齢化社会をどう支えていくかということについては、まさに地域が最前線とも言えます。



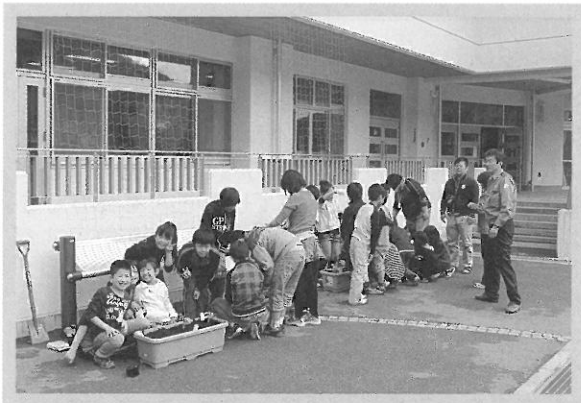
## 昔ながらの田植えを披露

5月28日(月)白川郷観光協会主催による田植えまつりが、荻町集落内和田家北側で行われました。今年で27回目をむかえ、天候も心配されましたが、始まる頃には雨もやみ、絶好の田植え日和となりました。観光協会員の女性ら20人が、昔ながらのかす

りともんべに笠をかぶった「早乙女」姿で田植えを始めると、新谷時男さん、新谷新藏さんによる田植え唄も披露され、その場を盛り上げました。カメラマンや観光客らは、合掌造り集落の田植え風景を撮影しようと、シャッター音が鳴り続けました。



あなたからの情報をお待ちしています。  
TEL 6-1311 内線123



## グリーンカーテンをつくろう

5月11日(金)関西電力㈱北陸支社の社員が、白川小学校児童たちに、電気や発電の仕組みを教えました。村内では水力発電が行われていることや、電気は貯めることができないため、無駄なく上手に使うしてほしいことを伝えました。最後に、夏の省エネに役立つように、植物で日差しをさえぎり、室内を涼しくすることができる、グリーンカーテンをつくるため、玄関横にプランターとネットを設置して、みんなでゴーヤの苗を植えました。

## 暮らしを守る消防署見学

5月2日(水)白川小4年生の児童たちが、高山消防署白川出張所を見学し、消防署の役割を学びました。リーダーの白川さん他3名の消防士が、児童たちに消防車や救急車などの仕組みを詳しく話してくれました。119番へ電話をかけると、高山市の消防指令室につながり、そこから各消防署へ指令が行くことも知りました。児童たちは、普段見ることのできない施設で、聞いたことや分かったことを自分のノートに、一生懸命書き残していました。





## 村内回ってリサイクル活動

5月12日(土)白川小学校PTA会員が、村内全域で資源リサイクル活動を実施しました。この取組みは、PTAや児童の活動に必要なものを賄う費用として、新聞紙や雑誌、アルミ缶などの回収を、年2回実施しています。親と先生の他に、子供たちが一緒に資源を集め、トラックへ載せる作業や、アルミ缶をつぶす作業を一生懸命手伝いました。回収した資源は、大きなトラック3台分となり、会員も感謝していました。

## 予防注射は飼い主の義務

5月9日(水)飛騨犬猫病院の獣医さんが各地域を回って、狂犬病予防注射を実施しました。狂犬病は非常に恐ろしい病気で、世界では毎年3~5万人が感染して死亡しています。予防注射を受けさせることが、万が一狂犬病が日本に侵入した際、犬に流行することを未然に防ぐことができます。この日は、沢山の犬が集まり、合計83頭が注射を受けました。まだ受けていない犬は、必ず予防注射に行きましょう。



## 合掌街道をきれいに

5月19日(土)世界遺産合掌街道実行委員会と、白川村役場職員互助会が、協力して富山県境から高山市荘川町境までの国道156号線のごみ拾いを実施しました。この道は、「飛越街道」とも呼ばれ、多くの観光客が利用する道であり、委員会では、地域の美しい風景を守るため、桜の植樹や、美化運動などに取組んでいます。この日は、約60人が参加して、軽トラ4台分のごみを収集し、街道をきれいにすることができました。

## 子育てについて学びましょう

5月16日(水)村教育委員会が、総合文化交流施設で、乳幼児学級開級式を行いました。この日は、保護者16名、乳幼児21名の全員参加で開級することができました。社会教育主事の新谷先生より、乳幼児学級のねらいや今後の活動方法を説明し、子育てについて「悩んだり、困ったり、知りたい、聞きたいと思うことを、みんなで一緒に学び合いましょう。」と話して頂きました。今年は、お父さんの勉強会も予定しています。



### 編集者のひとりごと

みなさんは、金環日食をご覧になりましたか? 5月21日の朝、日本の多くの地域で見ることができました。白川村でも天気恵まれ、部分日食でありましたが、9割以上が欠けた太陽を見てとても感動しました。金環日食とは、月が太陽を隠し、周囲がリング状にはみ出してみえる現象です。日食眼鏡が売り切れで購入できなかった人もいたようですが、早めを買っておいて正解でした。日食の時間に学校へ行くと、グラウンドでは小中の子供たちが大はしゃぎで眼鏡を覗き、何十回も太陽を観察していました。その中に加わって一緒に天体ショーを楽しむことができました。



# 忙しい朝でも作れる 簡単!お弁当レシピ Vol.5



テーマ\*暑い夏でも安心して  
持っていける子ども弁当



## チラシ寿司弁当



### ●材料 (お弁当箱約5個分)

米	3合	B	さとう 大さじ2
生しいたけ	1パック (6枚くらい)		米酢 大さじ3
人参	4センチ位	市販の寿司酢	80cc~100cc
A	さとう 大さじ2	ごま	大さじ2
	酒 大さじ1	薄焼き玉子	玉子一個分
	しょうゆ 大さじ2分の1	スナップエンドウ	適量
レンコン	150g位		

### ●作り方

- ①米は少し固めに炊く。
- ②しいたけは薄くスライスし、人参も薄く短冊切りにする。
- ③鍋に②とAを入れ汁がなくなるまで煮る。
- ④レンコンは細かく切り水で洗い鍋に入れてBでレンコンが透明になるまで煮る。  
レンコンが透明になれば火を止める。酢が鍋に残っている状態でもよい。
- (ポイント\*必ず、寿司酢ではなくて普通の酢を使いレンコンを煮る。ふたをするとレンコンのシャキシャキ感を失うのでふたはしないで煮る。)
- ⑤炊き上がったご飯を飯台に移し③と④とゴマと寿司酢を入れて混ぜる。
- ⑥飾りに錦糸卵とスナップエンドウを飾って出来上がり。

### きみママから一言

これから暑くなる季節ですね。食品がだめになりやすい時期に安心して持っていけるお弁当ですよ!

☆きみママのレシピはブログでも更新しています。

はらじゆく畑で検索  検索



野のむち 5月8日 幸ちゃん(荻町) 聖人・明日香

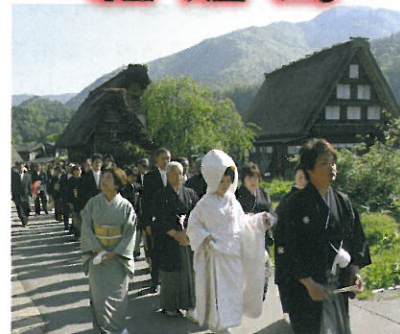


白木みおりちゃん(飯島) 4月21日 光成・ちほみ

### 誕生おめでとう

### 戸籍のまど

## 荻町集落で結婚式



5月19日(土)上手隆介さんと原田満実穂さんの結婚式が行われ、その行列が荻町合掌集落内を練り歩きました。新郎新婦を先頭に親族らの行列が出発すると、昔ながらの風習で、花嫁さんの白無垢姿をゆっくり見たい近所の人が、はしごやひもをつかって通せんぼする場面も見られました。あたたかい祝福を受けた、伝統感じる花嫁行列でした。

### むらの人口

男	853人	(0)
女	919人	(+4)
計	1,772人	(+4)
世帯数	573世帯	(+4)
高齢化率	28.95%	
6月1日現在、( )内は前月比		

### おくやみ申し上げます

野谷 哲(荻町)	5月13日 89歳
大野みさゑ(保木脇)	5月26日 85歳
上手隆介(荻町)	5月19日
原田満実穂(荻町)	5月19日
末永くお幸せに	5月5日
横江 直樹(静岡県)	岩田 園子(飯島)

応援してください!ふるさと寄付金 村外のご親戚やご友人に、白川村への「ふるさと寄付」をお勧めください。